

自主防災 ひろしま

自助

共助 公助

2022年 秋・冬
＜No.260＞

編集・発行
広島市危機管理室
082-504-2664

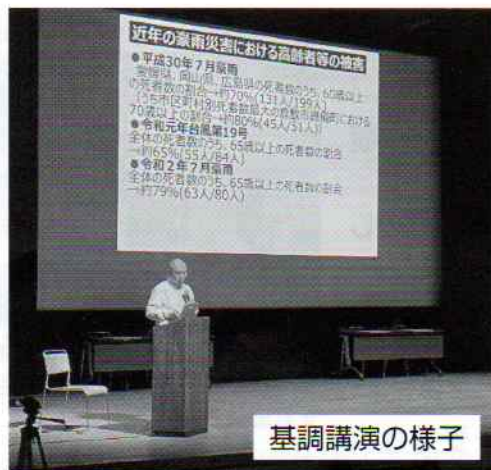
広島市防災セミナー 「みんなで防災！広島家族。」を開催しました！

4回目となる今年は、避難の支援を行う側、支援を受ける側、双方の立場から、どうすれば誰ひとり取り残さない避難が実現できるかについて考えました。

基調講演では、跡見学園女子大学の鍵屋教授が、高齢者などの要配慮者が増加し、災害時に支援を行う側の力が弱まる中、その危機を乗り切る決め手は、日頃の地域のつながりから生まれる「ご近所力」、また、その力が防災だけにとどまらず、魅力ある地域づくりにもつながることを事例を交えながら説明されました。トークセッションでは、避難や地域行事への参加の声かけをする際、それらをためらう方には様々な思いがあり、声かけする側は、その思いに寄り添うこと、日頃からのつながりが大切であることなどが話し合われました。

参加者からは「防災はコミュニティづくりの入り口。日頃からの人のつながりを大切にしたい。」「避難を呼びかけるときの参考にしたい。」などの感想が寄せられました。

当日の様子は、今年度末まで「アーカイブ配信」しています。是非ご覧ください。



基調講演の様子



トークセッションの様子

視聴方法

①スマートフォンを使用の場合

- ・右のQRコードをスマホで読み込み、同セミナーの市HPのページに接続



- ・同ページ上の「広島市公式 Youtube <外部リンク>」から視聴

②パソコンを使用、もしくは①のQRコードが読み込めない場合

- ・市HP上で右のページ番号を入力

ページ番号

286749



- ・同ページ上の「広島市公式 Youtube <外部リンク>」から視聴



跡見学園女子大学
観光コミュニティ学部
教授

鍵屋 一 氏

元東京都板橋区職員で防災、福祉など幅広い業務を経験。退職後は、その経験を活かし、内閣府「高齢者等の避難に関するサブワーキンググループ座長」など国レベルで防災行政に携わるとともに、地域の防災活動の支援を全国各地で行っている。広島市でも、避難行動要支援者の個別避難計画に携わる。

屋内受信機の更新について

本市が、地域の皆様へ防災情報等をお知らせするため、自主防災会長宅や消防団幹部宅等に設置している広島市防災行政無線屋内受信機について、老朽化が進んでいること等から、令和5年2月下旬頃から順次更新を行う予定です。詳細は令和5年2月頃に各設置者宅へ案内文を送付する予定です。ご協力をよろしくお願いします。



【現行屋内受信機】



【新しい屋内受信機】 ※イメージ画像です。

お問合せ先：広島市危機管理室災害対策課 ☎082-504-2356

地域の防災リーダーを知りましょう

本市では、平成27年度から防災士※の資格取得を通じた防災リーダーの養成に取り組んでおり、これまでに1200名以上の方がリーダーになられ、今年度も約200名が防災士養成講座を受講される予定です。防災リーダーは自主防災会長の補佐役として、地域で防災活動を率先して行う人です。

現在、ほぼ全ての小学校区におられますので、まだご存じでない方は自主防災会長などを通じて、お住まいの地域のリーダーを知り、防災活動に積極的に参加しましょう。

※防災士とは・・・防災に関する知識と技能を習得した人に、NPO法人日本防災士機構が認証する民間資格です。社会の様々な場で防災力を高めるための活動を担います。

活動紹介

安東亜ハイツ自治会（安佐南区安西学区）の結城勝美さんと道元実一さんは、防災士の資格を平成30年に取得し、地域で防災訓練や防災研修会など様々な活動を行っています。

令和3年8月の大雨では、団地上流で土石流が発生し、危険を察知した結城さんや道元さんは、周辺住民への呼びかけ避難を行いました。

幸い砂防堰堤等が土砂を捕捉したことにより、人的・家屋被害は発生しませんでした。災害への備えが大切であることを再認識し、その教訓を将来に伝えるための記録誌を作成し、地域へ配付しました。それらの取組みが評価され、この度、防災功労者防災担当大臣表彰を受賞されました。結城さんは防災活動のポイントは「平時からの顔の見える関係づくり」とし、災害に備えた地道な活動が大切と強調されていました。



記録誌を手にする結城さん（右）と「わがまち防災マップ」を手にする道元さん（左）

【祝】 防災功労者防災担当大臣表彰を受賞されました!!

令和3年8月の大雨災害での活動などを踏まえ、以下の6団体が受賞されました。誠におめでとうございます。受賞に至った実績等は、広島市HPからご覧いただけますので、今後の防災活動の参考としてください。

- | | | |
|-------|-------------------|----------------|
| ■安佐南区 | ○山本小学校区自主防災会連合会 | ○春日野学区自主防災会連合会 |
| | ○伴学区自主防災会連合会 | ○安東亜ハイツ自治会 |
| ■西 区 | ○古田台学区社会福祉協議会 | |
| ■安佐北区 | ○小河原・上深川地区社会福祉協議会 | |



市HPページ番号

297295



水害碑をめぐる防災体験学習を支援しています



水害碑の説明を聞く様子



砂防堰堤で説明を聞く様子

令和4年8月21日（日）、安佐南区内公民館や広島市立大学の学生たちが企画した防災イベントの一環で、親子など16名が、バスで安佐南区内の水害碑や砂防堰堤を巡りました。各地で、マップ「水害碑が伝えるひろしまの記憶」を見ながら、地域の防災リーダーから説明を聴きました。

参加者からは、「水害碑を通じて、過去の災害から備えの重要性を学ぶことができた。」「家族で避難の仕方を話し合おうと思った」などの声があり、防災意識が高まった様子が見られました。

広島市では、このように、次世代を担う子ども達に、防災をより身近なものとして感じてもらうため、市内の水害碑をバスに乗って巡る取組みを支援しています。

お問合せ先：広島市危機管理室災害予防課 ☎082-504-2664

住宅防災・減災対策工事補助金のご案内

広島市では、令和4年度から一定の要件を満たす擁壁の耐震改修や崖崩れ対策などの工事費用の一部を補助する制度を開始しました。

	防災対策工事補助金	減災対策工事補助金
申請者	営利を目的としない個人	
補助対象地	耐震診断で耐震性がないと判断された擁壁（高さ2m超で勾配30度以上）で、被災想定家屋1戸以上	高さ2m超で勾配30度以上の人工崖や自然崖で、被災想定家屋1戸以上
補助額	戸建住宅：工事費の23%以内 （上限230万円） 集合住宅：工事費の1/3以内 （上限333万3千円）	工事費の1/2以内 （上限100万円）

〈工事契約前・工事着手前に申請が必要となります。〉

- ・まずは、事前相談書を提出してください。その後、本市職員が現地調査・立会を行います。
- ・詳しくは、広島市ホームページ又はパンフレットをご覧ください。
- ・パンフレットは、下水道局河川防災課又は区役所の地域整備課で配布しています。

▼市HP

防災

減災



お問合せ先：広島市下水道局河川防災課 ☎082-504-2377

電気火災に注意しましょう

～身近な火災：電子レンジ編～

温めすぎて…

ある冬の寒い夜の出来事。小腹が減ったAさんは、夜食に肉まんを食べようと、電子レンジで700W・10分で設定し、加熱。

温まるまでと思い、隣室でテレビを見ていると、何やら台所から焦げ臭いにおいが…。

台所を見ると、電子レンジから煙が出ており、庫内の肉まんから炎が出ているのを発見。急いで水をかけて消火し、事なきを得ましたが、どうして肉まんが燃えるのだろう？



電子レンジ火災の特徴

- 電子レンジで食品を長時間加熱すると、水分が蒸発し、炭化して可燃性ガスが発生します。このガスが庫内に充満した際、食品の炭化した部分に帯電してスパークが起これば、可燃性ガスに引火して火災になります。

庫内に残る油・食品カスも、繰り返し加熱されることで、同様に火災の危険があります。

- 調理不可の包装（アルミが使われた冷凍食品やレトルトパック食品）を加熱すると、発熱やスパークが発生し、火災の危険があります。



対策

- ✓ 調理中はその場を離れず、様子を見ながら加熱
- ✓ 食品の表示を確認して、加熱時間と出力を調整
- ✓ レンジ機能とオープン機能を間違えない
- ✓ 電子レンジの庫内はこまめに清掃する



住宅用火災警報器 10年経ったら交換を！



Point!

① 適切に設置していますか？



＜設置義務のある場所＞
・寝室
・階段（2階以上に寝室がある場合）
※その他にも3階建て住宅などは、設置個所が増える場合があります。
居室や台所への設置もお勧めします！

Point!

② 点検方法はご存知ですか？



①「ボタンを押す」
or
②「ひもを引っ張る」

異常があれば、警報音や音声で教えてくれます。
異常があれば、すぐに交換しましょう！

Point!

③ 本体を取り外してみましょう！



設置した際に記入した「設置年月日」または、本体に記載されている「製造年」を確認しましょう。
交換のための本体は、ホームセンターや家電量販店などで購入できます。

Point!

④ 「連動型」をオススメします！



連動型の警報器は、1つの感知器が作動すると全ての感知器が連動して鳴動するため、早く火災に気付くことができます。